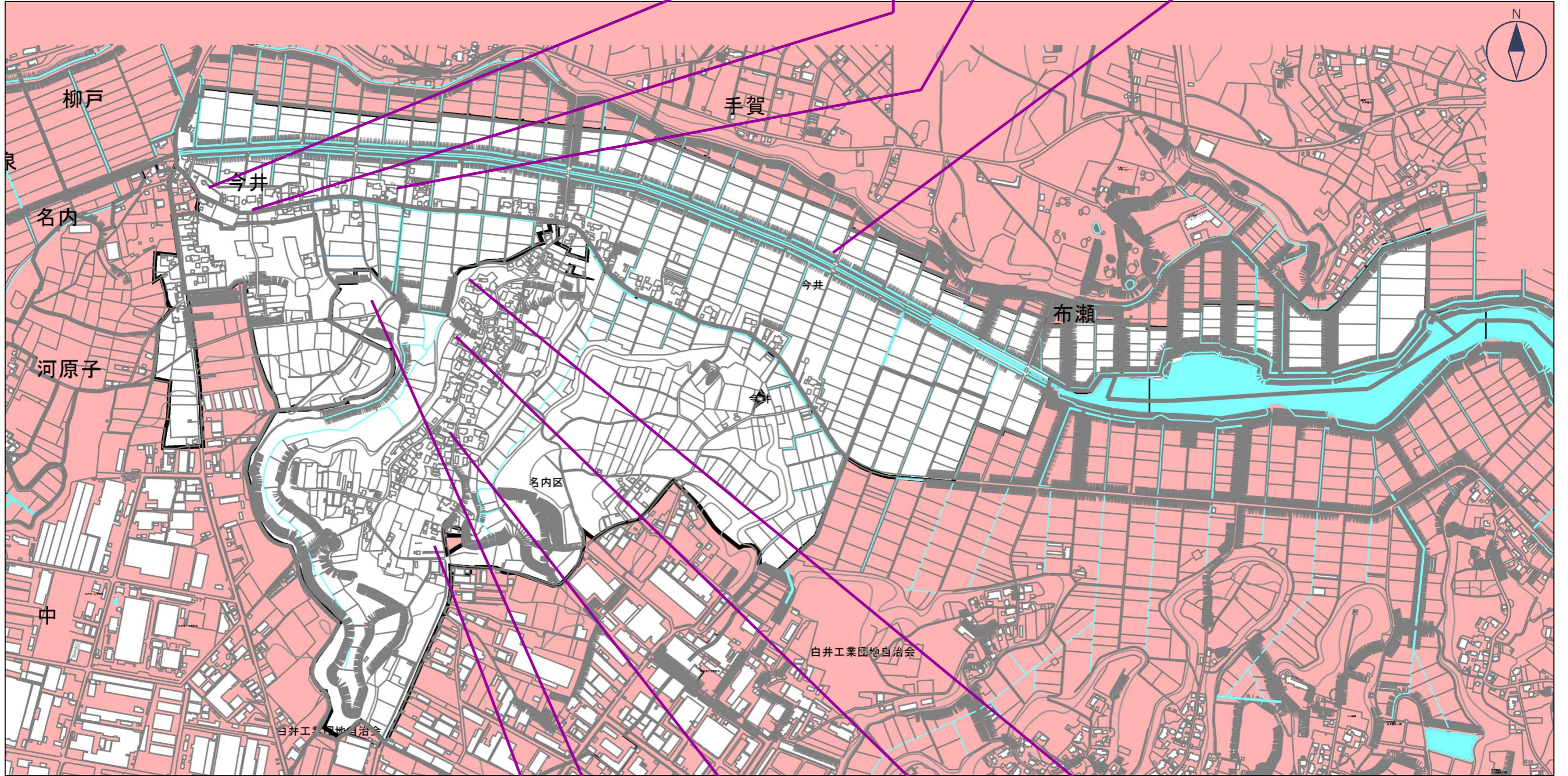


第二小学校区 宝物マップ 《今井》

白井市の北に位置し、手賀沼に近く、江戸時代に開発された村で「今井新田」と呼ばれていた。
水田、果樹、養鶏が盛んな地区。



① 稻荷神社

② 水塚

③ 東海寺跡
(今井青年館)

④ 今井の桜

《名内》

江戸時代、幕府直属の家臣である旗本領としての名内村があった。
畑地が多く、現在工業団地の一部となっている。

⑥ 浅間さま

⑤ 鳥見神社

⑦ 栗島神社

⑧ 東光院

⑨ 名内城跡

発行：ワイワイ広場分科会
(白井市公民センター)
電話 047-492-5266

① 稲荷神社

今井の入口の杉林の中にあるこの地の鎮守様で、拝殿のひさしのところに大きな木太刀が乗せてある。長さは4mほどあり、墨書きで「文久二戊（1862）結願成就」とある。昔地区内に伝染病が発生するとこれを持ち出し各家々を回って祓い清めたと伝えられている。



② 水塚

氾濫に悩まされた今井地区では、土を盛り上げて納屋や土蔵を立て、水が出るとそこが浮島になって家財道具や米などを守ったという。現在も何軒かの家に残っている。



③ 東海寺跡（今井青年館）

地区の中央にあり、集会場を兼ねている。東海寺の什物が発見され、「下総国印旛郡今井新田村東海什物文久四（1864）甲子年三月吉日」と彫られていた。



④ 今井の桜

金山落しは、江戸時代に度重なる手賀沼の氾濫に対し、享保12年（1727）に排水路として整備されたものです。

昭和32年から10年以上かけて堤に280本ほどの桜が植えられ、今の桜の名所となった。

⑤ 鳥見神社

市内に7カ所ある鳥見神社の1つで、面足尊を祭神。鳥居は両部鳥居であり、くぐると三山碑と庚申塔が並んでいる。



⑥ 浅間さま

小高い所に「浅間大菩薩」と刻まれた石碑がある。

7月1日を祭礼とし、1、3、7歳の誕生祝に参り、祈願されている。



⑧ 東光院

真言宗で聖観音菩薩を本尊とす。明治24年4月24日の大火の際、焼失を免れたという「火伏の地蔵」の伝説をもつ市指定の文化財木造地蔵菩薩立像も安置している。無人の寺である。



⑦ 粟島神社

少彦名命を祭神とし、伝説によれば和歌山県の淡島神社を室町時代の永禄年間に、千葉氏の家臣・伊藤左馬介守胤が招来したという。かつては多くの出店のあった縁日は、夜遅くまで村中大いに賑わっていた。



⑨ 名内城跡

手賀沼に細長く突き出す台地の西北部に主郭を置いた戦国時代の城館跡と考えられる。かつては、土塁や空堀が見られた。※民地のため道路からご確認ください。